

社会福祉法人 福田会 月次報告書

2024年1月30日 / Vol. 061



ご支援総額

2024年1月23日までの寄付総額

130,301,510 円

寄付金使用総額 1zł = 35円計算

3509131.9 zł (約1億2280万円)

2023/12/25(月)～2024/1/28(日)の期間中の寄
附金使用額

26660.68 zł (約93万3千円)

2023年12月25日(月)～2024年1月28日(日)の支援活動

食材支援 (毎週木曜日) ※祝日等で変動あり

一人あたり50złの予算を設け、1週間分の昼食用食材の購入を支援。

より長い支援活動の実施のため、登録家族の見直しをし、2024年からは高齢者や病気等により就業できない家族を対象に、食材支援を実施。

食材支援が終了となった家族は、無料のポーランド語コースへの参加を優先的に案内した。

2023年

12月28日(木) 22家族が参加 合計 2192.74 zł (約7万7千円)

2024年

1月11日(木) 13家族が参加 合計 1554.31 zł (約5万4千円)

1月18日(木) 13家族が参加 合計 1727.89 zł (約6万円)

1月25日(木) 13家族が参加 合計 1737.94 zł (約6万1千円)





無料のビジネスポーランド語コース

1月23日より、福田会ポーランド支部のあるクラクフ市内にあるウクライナ人支援団体：Zustricz財団と協力し、週2回のビジネスポーランド語コースを実施。

同コースはSNS上に受講者の募集をかけたところ、即時定員が埋まってしまい、キャンセル待ちが出る程の反響の大きさと、授業の定員は12名だったが、初回は16名が参加した。



ポーランド支部スタッフによる敦賀市訪問

1月19日に、ポーランド支部スタッフらがポーランドでの支援活動報告のため敦賀市を訪問した。敦賀市は、2022年3月にポーランド人道支援金を創設し、市民から募った寄付金を合わせて多額の寄付を福田会ポーランド支部に送金頂いていた。

敦賀市長・副市長にこれまでの活動内容と今後の活動予定を報告し、ウクライナ避難民の方から頂いた絵画などを披露した。

現地の動向

ウクライナ統一の記念日である1月22日にポーランドのトウスク首相はウクライナを訪問し、ゼレンスキー大統領と対談した。首相としては初めてウクライナを訪問したトウスク氏は、「ポーランドはウクライナがロシアとの戦争で勝利する可能性を高めるためにあらゆることを行う」と述べた上で、より強力な武器を購入するための融資や武器の共同生産計画などを含む、新しい軍事支援パッケージを発表した。

ウクライナにとってポーランドは重要な同盟国であるが、昨年末の*1ポーランドのトラック運転手らによる抗議活動によりウクライナ経済がダメージを受けたため、関係が悪化していた。しかしその後、トラック運転手らは抗議活動を3月1日まで中断することで同意し、トウスク氏は双方が「共通の理解に達した」と指摘した。

また、ウクライナのシュミハリ首相との別の会見では、両政府間の関係をリセットし、協力強化に向けた定期会合を開催すると発表した。こちらの会見でシュミハリ氏は、ポーランドの経済的利益を損なうことを避けるために最大限の努力を注ぐ一方、ポーランドにはウクライナの農民や生産者に対する制限の解除を要求した。

ロシアによるウクライナ侵攻が長期戦になっている中、ポーランドはウクライナの重要な同盟国として最大限の支援を行う一方で、まずは自国民、特にトラック運転手からの理解を得る必要があるようだ。

*1 これまでウクライナのトラックは特別許可がなければポーランドに入国できなかったが、2022年2月24日以降、この条件は廃止された。ポーランドのトラック運転手らは、他国の競合他社に仕事を奪われたとして、ウクライナとの国境にある道路を封鎖するなどの抗議活動を行った。